

第8回尾張旭市交通問題対策協議会

1 開催日時

平成16年1月20日（火）

開会 午前10時

閉会 正午

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎2階 201会議室

3 出席者名

会長：加藤哲男 副会長：黒田鉦司

委員：大澤一夫、大矢英樹、荻原善夫、奥野昌明、苅谷勝、加藤桃代、
近藤重男、櫻井栄二、田中悦子、田中さゆり、寺田千珠子、
服部正勝、林喜一、日比野正夫

顧問：伊豆原浩二

4 議題等

- (1) 第7回目の会議の概要について（会議録の確認）
- (2) 公共交通移動実態調査の集計・分析結果について
- (3) 交通問題対策協議会の報告書（案）について
- (4) その他

5 会議の要旨

(1) 第7回目の会議の概要について（会議録の確認）

第7回の協議会会議概要の内容確認。インターネット等での会議概要公表の了承を得る。

(2) 公共交通移動実態調査の集計・分析結果について

以下の資料に基づき、説明を受ける。

- ・尾張旭市公共交通移動実態調査
市民アンケート調査 問2・問3 中間集計報告
- ・公共施設の利用手段と利用頻度（本人用又は家族用調査票による集計結果）

【質問・意見】

- こういう結果が出たということは、前回私達がこの場で話し合った対象者を元気なお年寄りと交通困難者、そこに絞って通勤通学者は最初から選ばないで考えた方がいいんじゃないかという話を立証したことになりますか？

- いや、そこまでは立証できない。あくまでアンケートは傾向を見るものだという認識をお願いします。協議会は協議会としての意見交換で良いと思います。これは、精度の問題もあって、この地域はこうだから、この地域はこうですよ、とは必ずしもいえない。
- 車を運転しない方の移動手段をみて思ったのは、非常に自転車の方が多いということです。結局これで見ると、公民館、集会所と鉄道駅以外は自転車を利用してらっしゃる方が半数近くある。そういう意味で言うと、そういうところへ行くのに歩いては距離がありすぎる、けれど自分は運転ができないので自転車で、というふうに読み取った。
交通困難者という対象で進めていってもいいですが、かなりの人が、もし公共の手段ができれば、自転車は天気のいい日はいいけど雨の日は使えないなどか、車を運転できない方にはそれに取って代わる手段が必要だと読み取った。
プールは市営プールを考えてしまうが、アスカの2階も年中やってるし、健康管理のために通う人は個人的にもかなり知っている。プールの捉え方がどうかなと思った。
- 最初の、自転車利用者が公共交通に転換する可能性のご指摘はごもっともだと思う。ひとつ自転車利用者の年代構成を集計してみます。
- 公民館や集会所はほとんど1km以内だと思う。ここに巡回バスを回して利用してもらおうとしても利用者はいないと思う。
- そこにはイベントのないときには行きませんよね。このデータはあとの参考にしていただければいいと思うんですよ。何も知らないではうまくいかないので、実態を把握してやりましょうということです。ただ、このデータは検討材料の一部でありまして全部を決めるわけではない。そのことをご理解いただきたいと思います。参考にはなると思います。

(3) 交通問題対策協議会の報告書（案）について

～報告書（案）の構成～

はじめに

第1章 協議会における協議内容

- 1 道路運送法の改正による環境変化
- 2 交通問題に関するこれまでの経緯
- 3 尾張旭市の公共交通の実態
- 4 公共交通を考える上でのポイント

第2章 協議会委員の意見

- 1 乗合バス事業者（名鉄）からの退出意向等の申し出について

- (1) 名鉄バスからの申し出
- (2) 委員の意見
- (3) 名鉄バスからの申し出に対する対応方針

2 生活交通の確保について

- (1) 市が行う新たな公共交通は必要か
- (2) 新たな交通手段の目的、対象について
- (3) 現在行われているタクシー料金助成制度について
- (4) 交通空白地域などについて

第3章 尾張旭市における公共交通の取り組みの方向性

<参考資料>

- ・ 交通問題対策協議会開催経緯
- ・ 交通問題対策協議会設置要綱
- ・ 交通問題対策協議会委員名簿
- ・ 自治体事例一覧表
- ・ 多治見市・西春町の視察記録写真
- ・ 公共交通移動実態調査（アンケート調査票含む）
- ・ 交通移動実態調査（アンケート調査票含む）

第1章 協議会における協議内容について

（この章は、公共交通に関するこれまでの経緯や、環境についての説明内容です。）

【質問・意見】

- 交通問題に関するこれまでの経緯で、議会でのやりとりなどがあるが、その中で、「道路整備状況や財政状況等の問題」から実施ができないとされているが、道路整備は本当に必要なのか？
- 当時はそういう結論が出たということですね。路線バス会社の大きなバスを走らせるには、それなりの道路がないと道路運送法に引っかかるので。規制緩和の現在は大分変わっていると思うが。
- 自動車学校の車なんかは、ちゃんと走っている。やめる一つの理屈をつけているのかな。
- 当時、市役所から北の方についても、バス事業者と一緒に要望路線を視察した経緯がある。道路が狭くて基準どおりのバス停の設置もできないし、当時大型バスっていうのがここら辺を走っていて、そうしたバスでの運行は無理である、ということで議会の方にも道路整備が必要であると答えた経緯がある。
- 当時の制約条件は、その後どうなりましたか？
- 道路整備を進める、ということで、例えば、その結果向ヶ丘にバスが通じ

ました。

- 市内4コースを試走した、とありますが、どんなコースですか？
- 既存のバス路線とは異なるコースです。
- そのコースは協議会では公表されていますか？
- していません。
- 候補という認識ではなく、（昔こんな検討をしたんだ）というのを見たい。どこに問題点があったのか知るためにも。
- 報告書の中に参考資料として記載します。
- 経緯の中で、交通権という市民の権利として、足の問題解決をするという視点と、他都市の状況等で、住民の認識が変わってきたと思う。その辺のものの方を入れた方がいいと思う。この前テレビでもやっていましたが、愛知県下のコミュニティバスを運行する自治体が50%を超えたということです。そういう現実を入れてほしい。
- この報告書の参考資料として、自治体事例一覧と、視察の記録写真等をつけさせていただきます。今の部分については、そこから見えてくる他都市の状況、という表現で一度まとめたいと思います。本文には、他都市の状況、尾張旭市の状況として、加えます。
- 付け足して、愛知県のバス対策協議会の説明、ルールを入れた方がいい。なぜこの協議会ができたのかという前提条件の説明です。名鉄の申し出に対して、申し出を受けた自治体はどうするかという相談がある。それが本協議会でなされた、ということをつけ加えましょう。
- 尾張旭市の公共交通の実態の中で、バス路線数の変化が平成15年度まで載っていますが、平成16年度も載せるんですね。路線の変更は行政年度で変わっていないので、年月日を書いたほうがいいと思います。
- 路線図の変化はいりませんか？
- ここでは路線の拡大傾向から縮小傾向をお示ししたいと思い載せました。
- 路線図をいれるとぐちゃぐちゃになるから、本数だけでいいと思います。
- 本数だけ入れます。何月何日に変更されたというふうに書きます。
- 平成14年に実施された「尾張旭市まちづくりアンケート」の結果から市民の意識を見ると、本市の交通の便は全く良い、という感じがしますね。
- 市全体については、いいね。という感じです。ただし、南北交通とか新たな交通手段とかは、やっぱり求める要望は多いです。このアンケートは、まちづくり全般でのアンケートですから、交通に特化したアンケートではありません。大きな市民の意識、傾向として紹介させていただきました。
- 「公共交通を考える上でのポイント」では、伊豆原顧問の講演の内容、指摘事項がまとめられています。

第2章 協議会委員の意見について

(協議会での委員の意見、顧問のアドバイスから、内容をまとめています。)

【質問・意見】

- 「乗合バス事業者（名鉄）からの退出意向等の申し出について」、市民の人は、この説明ですぐに分かりにくいと思うので、路線の変化の図を入れた方が良いと思います。
- 入れます。
- 委員の意見は全部入っているのですか？
- 入っていますが、重複したような意見があれば削ったかもしれません。
- 委員の意見をもっと多く入れた方が説得力があるという気がします。
- 乗合バス事業者（名鉄）からの退出意向等の申し出についての委員の意見で、このときの内容は、「事業者に対してもっと交渉せよ」という話が出ていたんです。ただし、結論としていくら交渉しても現実問題無理だからと、対応方針が決まりました。
- この中に書いてありますね。でも結論がいきなり出ちゃっているので、分かりやすいようにしましょう。
- 公的補助、という書き方がしてあるけれど、市が補助するのも公的補助なんで、ここは国県補助としておいた方がいいんじゃないかな。市が補助するとは決めてないんだし。
- 国県補助対象の条件をどこかに書いておいてほしい。
- 入れます。
- いかに市民が利用しないかを実車率や平均乗車密度などのデータを入れてほしい。
- 一つのルートは補助路線にしてもらおうと言っても、それは乗車密度が満たされるという前提で出しているんですね。乗らなければ無理ですよ、という話もしているわけですよ。それは共通認識ということでもよろしいですね。市民が乗ると言う予測で出しているわけですから、協議会の期待も実現されない、廃止もやむなし、その流れは否定できませんね。
- 私の意見で、「タクシーチケットを持っていても使えない」というのがありますが、今まで80年間タクシーを使った生活をしていないので、生活習慣からタクシーはもったいなくて使えない、という意味をつけてほしいです。
- 入れます。
- 「新たな交通手段」を考える上で、ボランティアは期待できることが多いです。その話を入れてほしい。
- NPO と公共交通について、国の方も注目しており、タイムリーな話題なのでぜひ入れましょう。

第3章 尾張旭市における公共交通の取り組みの方向性について

(今後の取り組みのキーワードです。)

【質問・意見】

- 「市は」という表現があるが、行政なのか、市民も含めての市なのかはつきり表現した方が良い。市民と行政と、事業者が協働して、とか。
- 市民が皆で利用しないと成り立たない、というところをアピールしなきゃならない。いわゆる行政にお任せという意識でやってはだめだと。
- 事業者に対しても何か言っておきたい。事業者の努力を求めるということを。今までの議論でも出てきたので。
- 市民の利用がないことには、成り立っていないというのは当然ですが、それは私達メンバーは分かっているが、市民は全く分かっていない。「なんとなく使おう」と「積極的に使おう」とでは大きな差が出る。市民の方は多分に行政にお任せという気分がある。それは過去の行政の責任でもあるが、作ったものはこうだよ、利用しなさいよ、という形は過去のやり方。今私達がやっていることは、市民も一緒に考えてい、こういういいものができあがりつつあるよ、不満があったら言ってください。メンテナンスしながら、もっと良くして行きましょう、ということをごどこかに表現してほしい。
- 早く実証実験に移すべきだと思っています。ですから、「検討組織の設置や最低限必要な予算措置を行う」ではなくて、実証実験を即やりましょうとしてほしい。
- 「真に市民の利活用があるかデータを収集する」という部分について、その「データ」というのはアンケート調査をやったりとかそういうデータじゃなくて、実証実験で得るデータ、そういう段階だと思っています。早く住民への周知をやって早く実証実験にすすむ、ということをご強調させてほしいです。
- この協議会をどうやって存続させて、どう活用するか。コースによっては、巡回バスなどを走らせることにより、メリットを受ける人も出てくる。その人たちを含めて、ボランティア組織をつくる。ということも必要だと思う。われわれの巡回バスを実現する会を育てる会にしてもいい。皆がやらないかんとお思っている。市民へのアピールをどう表現するのか。その辺のあり方をもう少し具体的に表現してほしい。
- 行政の方は、素直に書いてあると私は理解している。しかしそんな当たり前のことは書かなくていいから、やろうとすることをストレートに書いてほしいということですね。
- やろうとしている方向は同じです。ただ、市民の方も広くて、具体的な案を持っておられる方、かたや交通にあまり意識のない方、どちらも市民です。1年かけて共通の整理事項として次の1歩がまとまったということです。

- アンケートを読むと、熱い思いがいっぱい書いてある。いろいろな市民の方々がいらっしゃる。その辺を工夫して、可能な限り入れていただきたいと思います。
- 「真に市民の利活用があるか否かのデータを収集する」とありますが、この表現を読むと、データを収集して、その結果、否のほうが多いとだめになっちゃうようなイメージがあるので、この辺の表現をもうちょっと変えてほしい。
- 私はストレートで好きなのですが、もっと柔らかく。
- データを収集するという意味で書いたのですが。データ収集を行うための実証実験ではなく、最初から100%は無理だけど、まずやれるところからやってみて、データを取ってみて、だめだったら違う方法を考えてみる。まずアクションを起こしてみる。その説明責任をとるためにデータをとりたい。ですから、そのデータの分析が大事だと思います。
- 以前、事業者への要請をするという話があったが、どうなったか報告してください。
- 名鉄バスには文書で撤退は踏みとどまってほしいと出しましたが、名鉄バスは分社化などで今の会社そのものの存在が難しくなるので、そのままそうですかと応じるわけにはいきませんが、気持ちはお受けします、ということでした。名古屋市営バスが印場駅へ乗り入れる話が事前に何の協議もなかったことについては、名古屋市も内部のことがあり、出せる時期というものがあるそうですが、今後はできる限り早く出すという返事をいただきました。

(4) その他

今日の意見を取り入れて、修正をします。修正案については事前に各委員に送付して内容確認をお願いする予定です。次回は2月24日（火）です。

3月議会に、この成果を出したいと思います。